

草刈りの作業手順(連絡・休憩等施設)

・IC PA SA等施設の草刈作業

| | 内 容 | 留 意 事 項 | 危険性・有害性の洗い出し | 重篤度 | 可能性の 割合 | リスク評 価 | 優先度 | リスク低減措置 |
|-----------------|---|---|--|-----|------------|-----------|-----|---------------------------------------|
| | | | | | | | | |
| 準備工 | <ul style="list-style-type: none"> 作業打合わせ(KY活動) 作業人員の確認 使用機械・工具の点検 保護具の確認 飛石対策 施工箇所・使用機械の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 安全品質作業指示書による 作業分担・配置の確認・発生草搬入場所の確認も行う 現場故障が無いように始業・終業点検の励行 保護メガネ・肩掛けベルト・防護面等 飛石対策要領 ※事前に現地調査を行い、施工方法・安全対策等について検討する ①トリマー式草刈機の使用 トリマー式草刈機を使用する範囲等は資料を用いてメンテ職員(現場責任者)と協議を行い、周知徹底する。 使用範囲は現地で再度確認し、作業従事者全員へ周知徹底する。 機械作業が困難な箇所については手刈りを行う。 作業隣接箇所に駐車車両等がある場合、飛散防止ネットを使用する。 ②通行止規制内にて刈払機を使用する場合は飛散防止ネットを設置する 第三者被害を及ぼす可能性のある場合は飛散防止ネットを設置し、飛散防止対策を徹底する。 | <ul style="list-style-type: none"> 石などの飛散により作業員がケガをする。 石などの飛散により通行車両に当たる。 草を刈る時は高刈を基本とする。 ②通行止規制内のみとする | 3 | 5 | 8 | IV | 保護具(保護メガネ、防護面等)の着用 |
| | | | | 3 | 5 | 8 | IV | 飛散防止ネットの使用 トリマー式草刈機・チェンソーのみとする。 |
| 作業開始 | <ul style="list-style-type: none"> ケーブル露出箇所の確認 危険物(ゴミ等)の除去 | <ul style="list-style-type: none"> 作業員全員に施工場所及びトリマー式草刈機の使用徹底。 ケーブルにリボンテープで印を付け、常に確認出来る状態で施工を行う。 ケーブル周辺は人力除草または除草剤対応とし、刈り払い機等の機械作業を禁止する。 仮設ケーブルの連続してある箇所は施工しない。(施工時は事前協議をする) ツル等が絡んで引きずり込めない場合カマ等を使用し人力で処理する。 | <ul style="list-style-type: none"> 燃料缶が高温になり発火する ケーブルを切断してしまう。 針金等が自分に飛んでケガをする | 3 | 3 | 6 | III | シートで養生する。 消火器を設置する。 |
| | | | | 4 | 4 | 8 | IV | 作業前の現場確認をする ケーブルの近接は手作業もしくは除草剤散布する |
| ハードノーズ付近狭小部での作業 | 各連絡施設・休憩施設においてハードノーズ付近の狭小部において事前に施工方法・施工範囲等の確認 | 草刈作業においてはトリマー式草刈機を使用する。 狭小箇所以外であっても急傾斜地はトリマー式草刈機を使用する。 | | | | | | |
| 作業中の滑落・墜落対策 | 急勾配の法面やC-BOX上等で作業時、滑落・墜落防止対策実施 | 施工前に現地を確認し、必要であれば親綱、安全带等を使用し、滑落・墜落防止対策を行う。 | 法面から滑落・転落する | 4 | 2 | 6 | III | 親綱、安全带の使用 |
| 刈込み及び草集め | <ul style="list-style-type: none"> 肩掛け式草刈り機にて刈り込み 刈り倒した草を寄せ集める | <ul style="list-style-type: none"> 刈り手と寄せ手の教育をする 刈り手は保護具(メガネ、スネアテ等)の着用 のり面等、急な斜面は足元確認。 上下作業の禁止。 | <ul style="list-style-type: none"> 草刈り機で寄せ手にケガをさせる。 足元が滑って転倒する。 | 5 | 1 | 6 | III | 刈り手、寄せ手の作業間隔を5m以上開ける |
| | | | | 1 | 5 | 6 | III | 互いに声を掛け合う。 スパイク等滑り止めの検討。 |
| 積込み | <ul style="list-style-type: none"> バックカー車及びトラックに積込み ※バックカー車への積込は、【バックカー車積み込み作業手順書】による。 | <ul style="list-style-type: none"> 車両の駐車は、出来るだけ見通しの良い場所へ置く。 トラック積込はラハコン側では行わない。 | | | | | | |
| 仕上げ | 排水溝内、積込み箇所の清掃 | 排水溝内に刈った草はないか。 積込後の草は散乱していないか確認する。 | | | | | | |
| 草運搬 | 指定された場所へ運搬する | 遺距離を回送するので速度に充分注意。 トラックの積荷確認、バックカー車のゲートロック確認を確実実行する。 | | | | | | |
| 後片付け | 終礼の実施 | | | | | | | |

| | |
|------|---|
| 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> 発生草は指定された場所以外の搬入禁止 ケーブル露出箇所、機械刈り禁止 刈り手は保護具(メガネ)確實着用 作業ヤードが狭い一般車注意 規制外作業禁止 規制内での作業開始前「避難場所を定めて、避難訓練を実施する」 ハチ注意(殺虫剤の携帯、エビベン、ポイズンリムーバーの携帯) 草木の挿入は必要時トンボなどを使用する 夏季は熱中症対策計画書順守 |
|------|---|